

## 第3章 主要指標の見通し

### (1) 国の推計人口を上回る国勢調査人口

平成15年12月に示された「日本の市区町村別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）によると、わが国の人口は将来的には減少していくと予測されています。

この推計では、新市の平成22年人口は689,364人（以下この章において「22推計値」という。）と推計されていましたが、平成22年国勢調査結果では、1市2町の合計人口は709,584人となっており、22推計値に対し、20,220人、約2.9%上回っています。

これは、新市が政令指定都市として、また広域圏の中核拠点都市として、中枢管理機能や高等教育機関等の集積を背景に、人口の社会増が反映したものと考えられます。

平成22年国勢調査結果から (単位：人)

岡山市	建部町	瀬戸町	新市計
688,294	6,075	15,215	<b>709,584</b>

[参考] 「日本の市区町村別将来推計人口」からみた新市の推計人口

(国立社会保障・人口問題研究所、平成15年12月推計資料)

区分		平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
各市町	岡山市	662,785	667,906	668,054	663,080	654,530
	建部町	6,630	6,242	5,838	5,426	5,039
	瀬戸町	15,032	15,216	15,249	15,133	14,870
新市計		684,447	689,364	689,141	683,639	674,439
伸び率(%)			100.7	100.0	99.2	98.7

### (2) 政令指定都市へ移行

岡山市は、平成21年4月1日に政令指定都市へ移行し、平成22年国勢調査結果では、政令指定都市の人口の目安とされる70万人を超えました。